

中小企業の「攻めのIT」は 「つなぐIT」

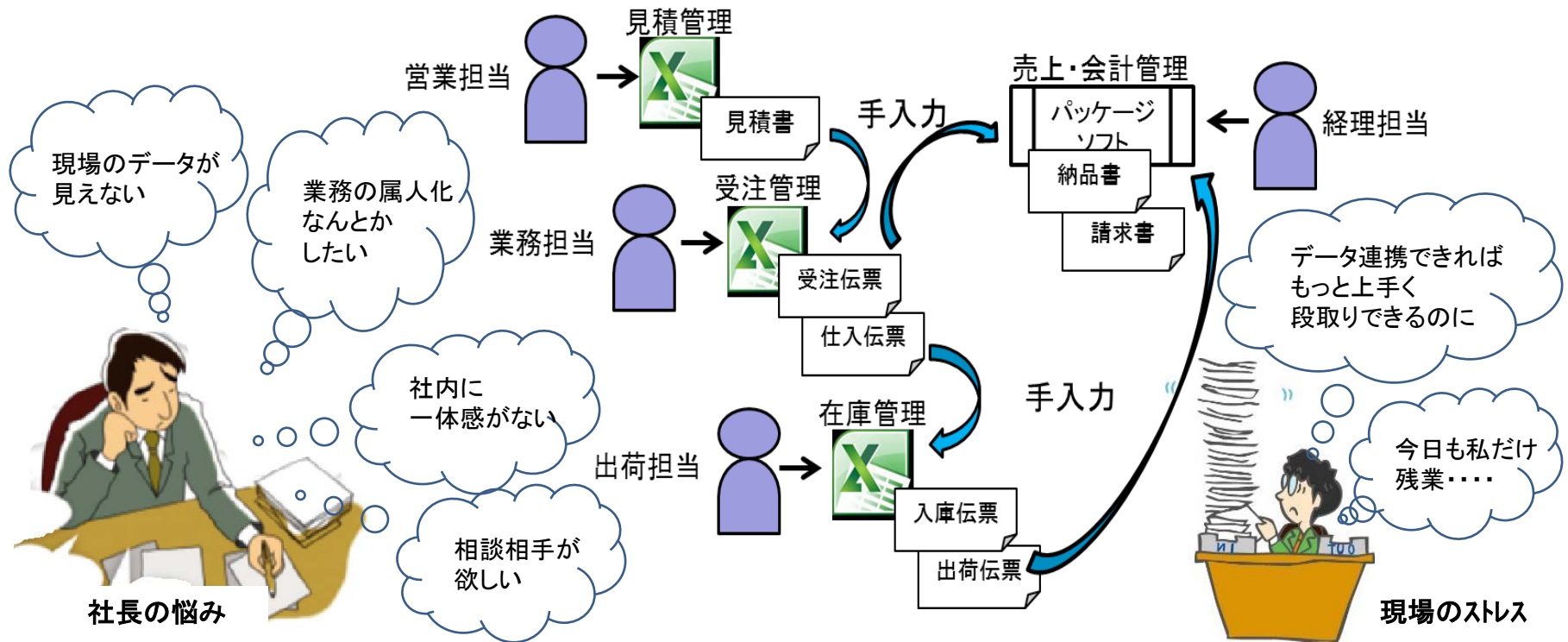
2015年4月

ITコーディネータ協会

ITカイゼン研究会

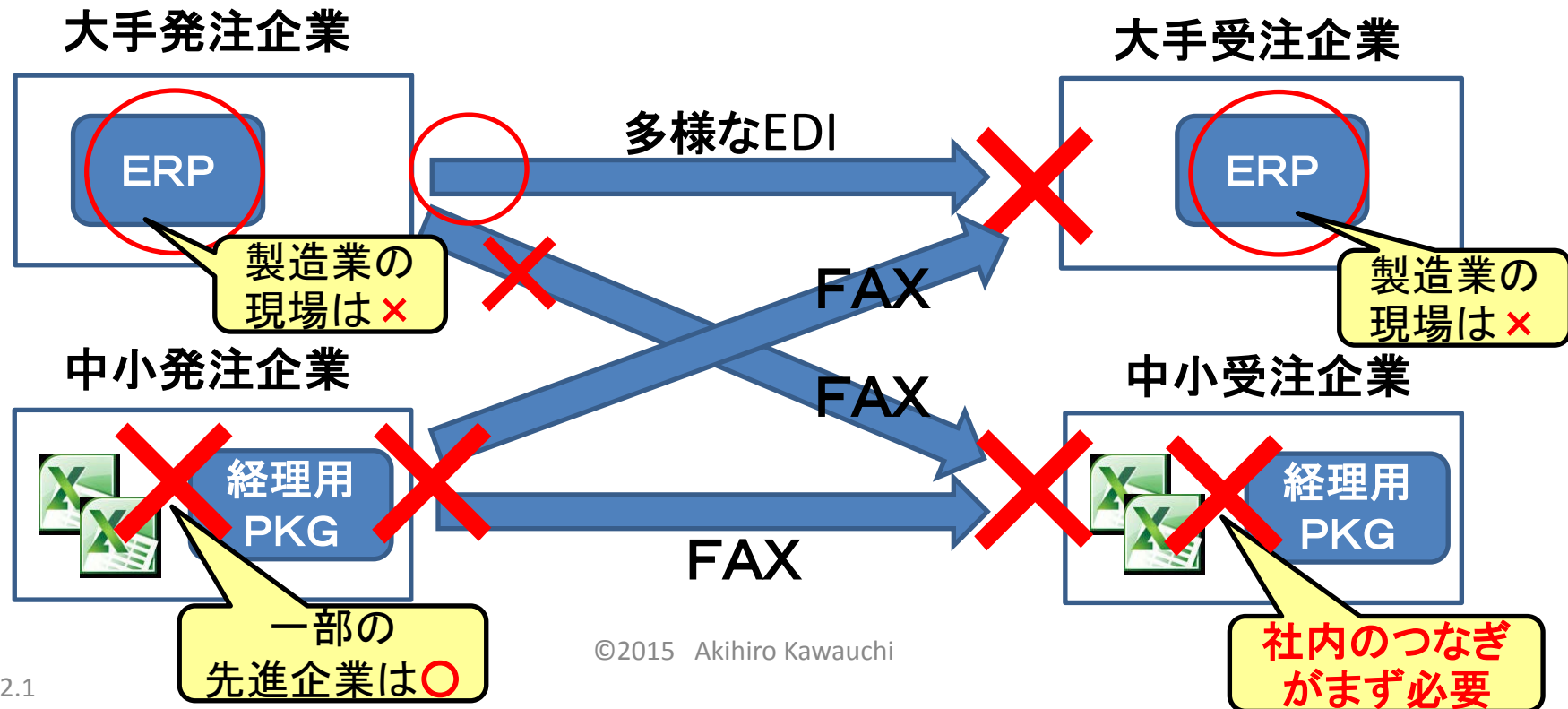
「社内IT」がバラバラでつながっていない

- ◆売上と会計はパッケージで運用 → しかしメイン業務がまだExcel
- ◆各部門のExcelがバラバラ → データ入力が二重・三重の手間



企業間の「つなぐIT」もバラバラ

- 企業内の「つなぐIT」
→大企業；○（製造業の現場：×）、中小企業：×
- 企業間の「つなぐIT」
→大手発注企業：○、受注企業（大手、中小）：×



中小企業の「IT活用」の現状は？

- 中小企業のIT導入はこの10年で進展した
 - パソコンとインターネットの導入は常識になった
 - EXCELは一般ユーザーが専門家の支援なしで業務に活用
- しかし、基幹業務のIT活用については、一部の先進企業を除き満足している中小企業は少ない
 - 中小企業の基幹業務IT活用は、平均層の底上げが進んでいない
 - 小規模中小企業ではEXCEL利用にとどまっている
- IT活用を妨げている主要因はバラバラなIT導入
 - 「攻めのIT」はまずこの問題の解決が前提→「つなぐIT」
 - IT投資額が中小企業の身の丈に合わず、IT導入を見送る企業が多いことも大きな要因
- 企業間はもっとバラバラでつながっていない



中小企業には「つなぐIT」が必要

「攻めのIT」のキーワード

- 「クラウド」/「モバイル」

- 「ビッグデータ」

中小企業の「攻めのIT」
キーワードの提案

- 「つなぐIT」

- 企業内つなぐIT
- 企業間つなぐIT
- 顧客とつなぐIT

「つなぐIT」による「攻めのIT」への展開

攻めのIT経営

新規分野開拓
新たな価値創造



経営戦略の推進

市場や顧客の変化
への迅速な対応

ITによる製品／
サービス開発・強化

ITを活用したビジネス
モデル変革

ITによる顧客行動
市場の分析強化

企業内「つなぐIT」 で競争力強化

原価の見える化
損益構造の見える化

業務のスピードアップ
→クイックレスポンス

約束順守、ミス撲滅
→サービスの質向上

ノウハウ蓄積・活用
→高度な提案・製品

企業間「つなぐIT」 で競争力強化

企業連携による
提供サービスの拡張

グループを統合した
トレーサビリティ実現

共通EDI普及による
取引データの蓄積

攻めの経営戦略

利益体質への転換

企業競争力の強化
(製品・サービス)

売上・利益拡大

新規顧客・新分野の
開拓

取引先をスルーした
グループ競争力強化

中小企業の「攻めのIT」⇒「つなぐIT」

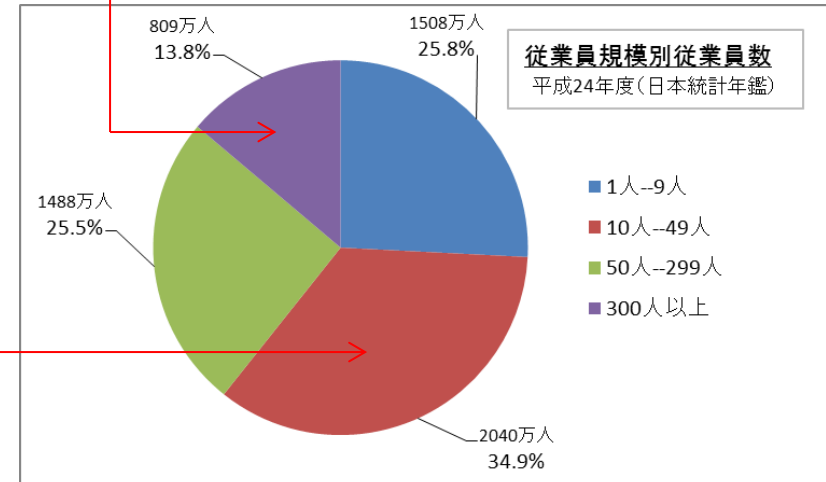
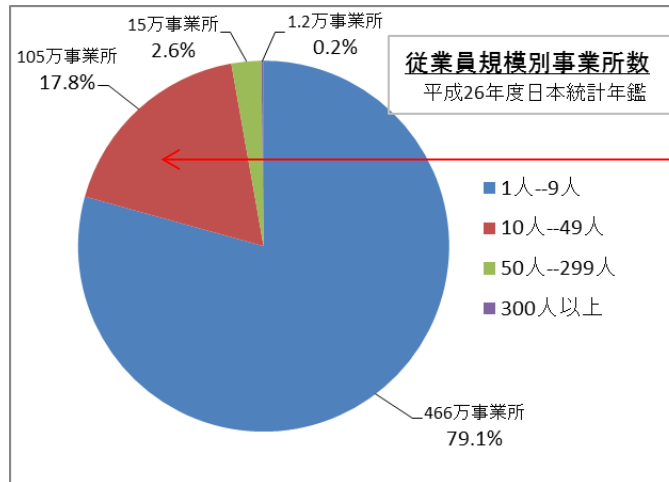
・「つなぐIT」によるIT活用成熟度ランクUP策

成熟度	基幹業務のIT活用成熟度定義	「つなぐIT」による成熟度ランクアップ策は？	主な対象企業
0	紙帳票で管理	・EXCELの活用 ・インターネット→メール導入	1～9人企業
1	業務別にEXCELを利用＋販売・会計PKG→相互に繋がっていない	・企業内「つなぐIT」 ・顧客「つなぐIT」→販売WEB-EDI	10～49人企業
2	販売PKG＋生産PKG＋会計PKG＋EXCEL→相互に繋がっていない	・企業内「つなぐIT」 ・コミュニケーションクラウド活用	50～300人企業
3	基幹業務は繋がっている (但し基幹以外はまだ繋がっていない→EXCEL個別アプリが継続) 企業間とは繋がっていない	・企業内「つなぐIT」高度化 →モバイル活用 ・企業間取引「つなぐIT」 →次世代EDI＝共通EDI活用	IT経営実践企業
4	基幹と個別アプリを統合した企業 内外データ共有システム活用	・「つなぐIT」活用によるイノベーション→「つながる工場」など	IT経営先進企業
5	企業内・企業間の統合データ共有を実現した新ビジネスモデル構築		

中小企業の規模別目標

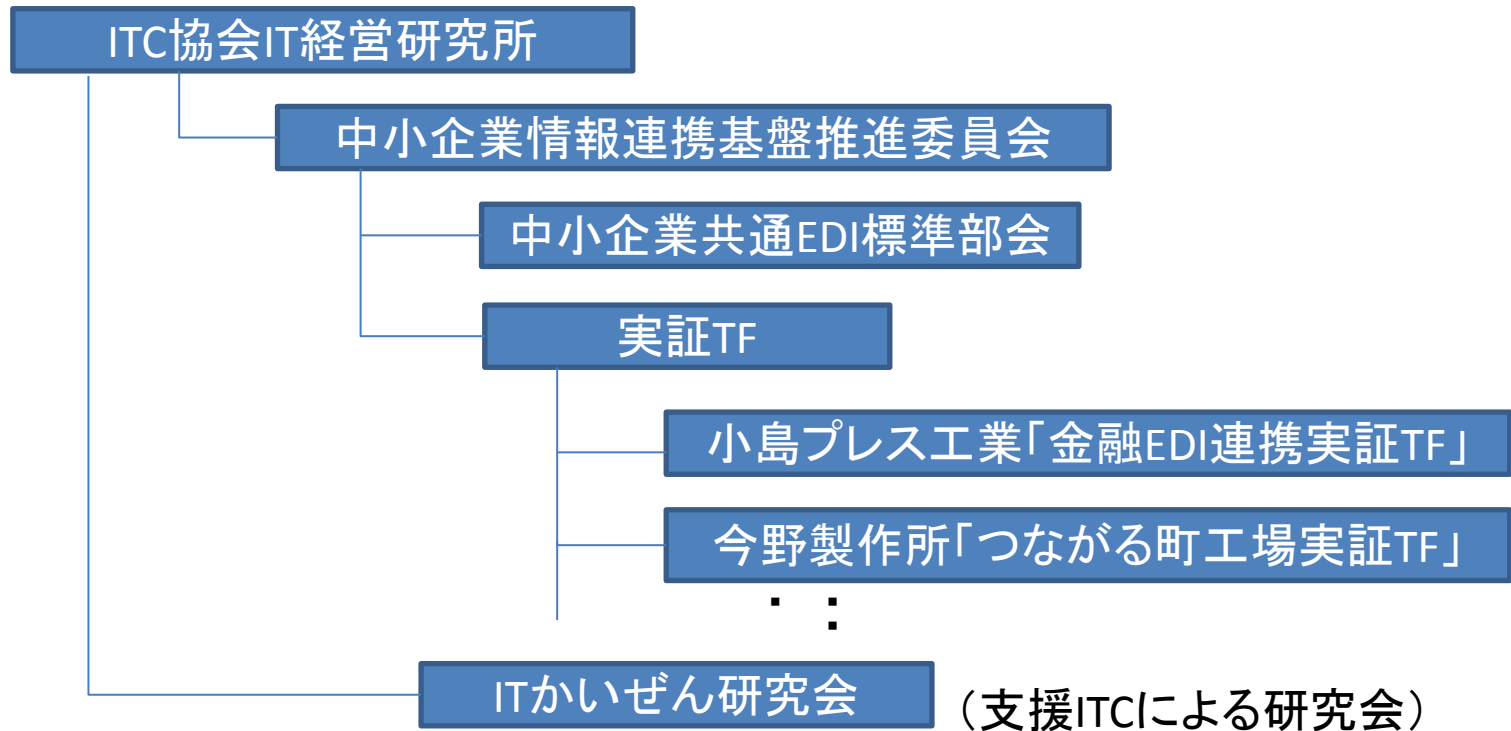
- 【目標1】**IT活用空白ゾーン企業(成熟度レベル1)を「**企業内つなぐIT**」で成熟度レベル3へアップ
 - 従業員数10～50人企業の基幹業務のIT活用はEXCEL中心→成熟度レベル1
 - 従業員数10～50人企業は中小企業の中核部分を占めている
 - 事業所数:17.8%、従業員数:34.9%
- 【目標2】**成熟度レベル3企業を「**企業間つなぐIT**」で成熟度レベル4へアップ

成熟度	基幹業務のIT活用定義
0	紙帳票で管理
1	業務別にEXCELを利用＋販売・会計PKG→しかし繋がっていない
2	販売PKG＋生産PKG＋会計PKG＋EXCEL→しかし繋がっていない
3	基幹業務は繋がっている (但し基幹以外はまだ繋がっていない→EXCEL個別アプリが継続)
4	基幹と個別アプリを統合した企業内外データ共有システム活用
5	企業内・企業間の統合データ共有システムを活用



ITC協会の「つなぐIT」への取り組み

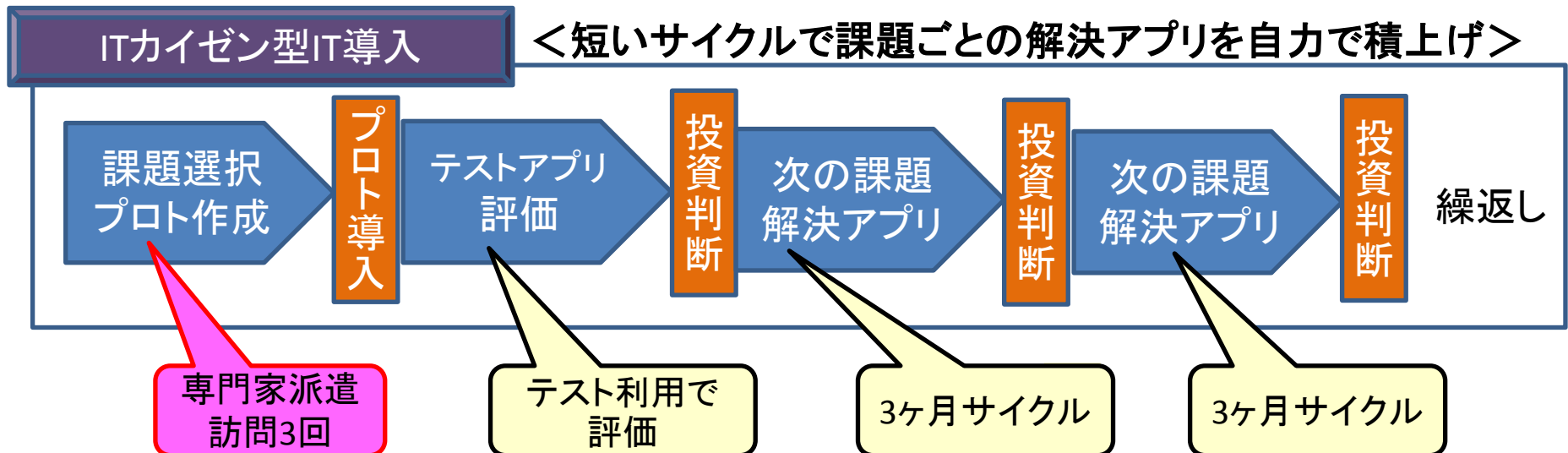
- 2009～2012: 企業内・企業間データ連携調査研究委員会
→西岡教授ご提案の「ITカイゼン」と「コンテキサー」の開発
→企業間をつなぐFAXに代わる「中小企業共通EDI」の開発
- 2013～ : 中小企業情報連携基盤推進委員会／ITカイゼン研究会
→実用化と普及のための実証TFを中心に運営



<http://www.itc.or.jp/news/201325.html>

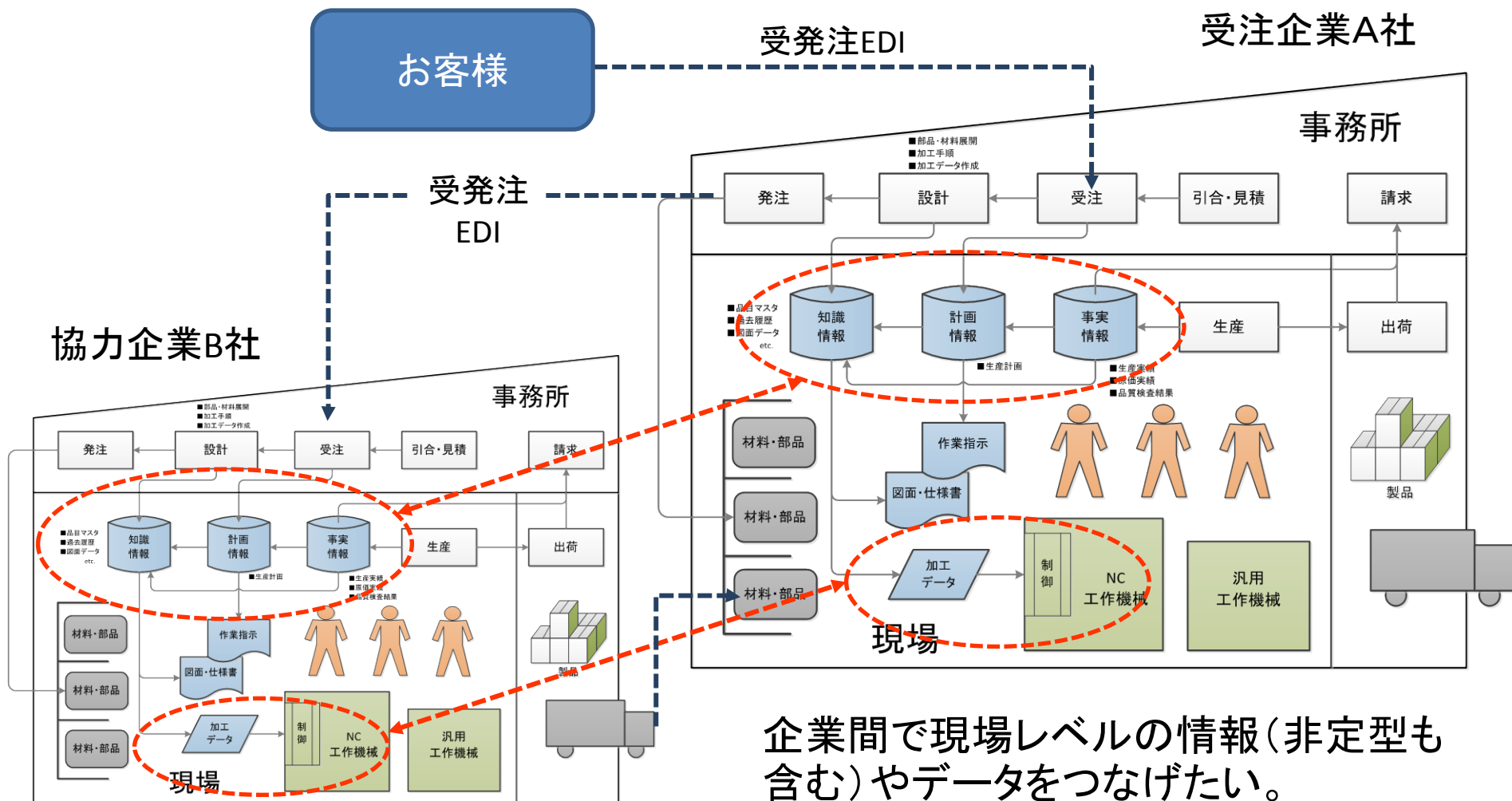
ITカイゼン研究会の「ITカイゼン」取組み

- 「つなぐITカイゼン」活動で実現したいこと
 - ユーザー主導で『「つなぐIT」を活用して積上型課題解決』を実現すること
- 東京商工会議所様の専門家派遣事業で中小企業「つなぐITカイゼン」活動の実証検証に取り組んでいる
 - 大きな投資負担なしで企業内「つなぐIT」実現の可能性検証



「つながる町工場」TFの実証実験

- ・今野製作所が2014年度東京都地域中小企業応援ファンド 地域資源活用イノベーション創出助成事業に採択(2年間事業)



企業間で現場レベルの情報(非定型も含む)やデータをつなげたい。

中小製造業「つなぐIT」の今後の展開

